

四季折々の詩

麻里布中学校
令和7年3月6日 No.243
Tel 22-2234 FAX 22-2235



< 祝 卒業 今を大切に >

校長 藤川 義道

九ヶ年の義務教育の課程を経て、本校を巣立っていく114名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。これまで皆さんは、伝統ある麻里布中学校で多くを学び、自立に向けて様々な経験を積み重ねてきました。

朝のあいさつ運動や校庭の花壇の美しさ、全校で心をつなげて取り組んだ体育祭、文化祭、どれも麻里布中の誇れる姿です。その中心には、いつも素晴らしい生徒がいます。

「過去と他人は変わらない。自分と未来は変えられる。」という教えを聞いたことがあります。人生100年時代、皆さんの可能性は無限です。夢や目標に近づくためには、日々の過ごし方、地道な取組が大切です。今を大切に生きていきましょう。

先日、校長室の戸棚を整理していると、平成8年4月（二武功校長先生）に発行された初版の「四季折々の詩」を見つけました。本紙の名前の由来について、「本校の正門から校庭の中央ロータリー、玄関先に季節ごとの花々が咲き乱れる光景に季節を感じ、心の安らぎを与えられました。花にはその時々に応じた美しさを見せてほしい。生徒には、いつも自分の心の中の花（美しさ）を表現してほしい。そんな想いを込めて学校通信を「四季折々の詩」と名付けました。」と記されていました。本校の校庭には、今も美しい花が咲き、心を癒やしてくれます。麻中の生徒は、時代を問わず仲間を大切に、それぞれの持ち味でエネルギーを表現しています。これからもずっと続いてほしい校風と願っています。

令和6年度もこれをもって最終号となりました。これまで本校教育に携わっていただきました全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和7年度は、開校70周年を迎える節目の年にあたります。4月に式典、懇親会を予定しており、生徒を対象にした記念事業も計画されています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

< 卒業を迎え >

3年生のみなさんと初めて出会ったのは、小学校を卒業して間もない一日入学の日でした。妙に懐かしさを感じるその笑顔から『〇〇の妹です！先生のクラスにしてください！』という言葉が飛び出し、ふと周囲を見渡すと…どこか見覚えのある面影があちらこちらに…。そんな初対面とは思えない親近感を覚えたスタートでした。

1年生の時にはパワーが炸裂する3組の担任として、日々楽しく格闘していたことを思い出します。2年生になるとかわいい後輩ができたこともあり、ちょっぴり背伸びして凛々しくなった姿が思い出されます。そして3年生…。行事や部活動などでリーダーシップを発揮し、キラキラと輝いていた姿が目につかびます。なんとも立派に頼もしく成長しましたね。まさしく学年目標である“Sunshine”のごとく…。

しかし、それとはうらはらに、行事の時には結構な勢いで雨が降り、小学校の卒業式も雨だったとか…。修学旅行期間中の天気予報はすべて雨で、特に2日目の京都班別自主研修では坂道が激流と化すような雨が降り、また、文化祭当日の午前中もゴーゴーとうなるような激しい雨が降りました。これも思い出のひとつですが、その後に待ち受けていたものは、笑顔あふれるUSJでのひとときと歓声が沸き起こるステージ発表でした。

何があっても普段と変わらない天真爛漫なその姿に、これぞまさしく光輝く黄色学年！なんともこの学年らしいな…。と思わず笑顔になってしまう日々でした。この素敵な出会いに感謝し、これからのみなさんの輝かしい未来にエールを送りたいと思います。

なみだ雨

見上げる空に

Sunshine《サンシャイン》

きっとまた会おう

オレンジの街で

ご卒業おめでとうございます。

< 生徒指導部より >

「私たちは仲間である」

麻里布中学校には、ずっと変わらないものがあります。それは「一緒に本気になって取り組んでくれる仲間がいる」ということです。生徒会活動、学校行事、部活動等、その活動の中で、誰かが本気になったとき、その熱を遮ったり、足をひっぱったり、しらけたりするのではなく、一人、また一人と仲間の熱を受け止め、伝導し、輪を広げ、最後は大きな熱の塊をみんなで創る。一人では果たせない大きな目標や夢を、そうやってみんなの力で実現させる、今年もそのような瞬間に何度も立ち会い、大きな感動を味わいました。

麻里布中学校の根底にあるのは「仲間を大切にする気持ち」だと思います。学園心情にある「私たちは仲間である」これが伝統としてしっかりと根付いています。

「自分がどうすることが、仲間を大切にすることにつながるのか？」相手や場面によって変わる難しい問いに、生徒たちは自問自答しながら仲間と関わっています。その中で起こる小さな行き違いに、悩んだりぶつかったりすることも時にはあるでしょう。その時に、互いの気持ちにより添い、折り合いをつけ、一緒に乗り越えることで、絆を深めながら日々、成長しています。

私たち教師も仲間です。同じように自問自答、試行錯誤しながらも、生徒の成長を思い、情熱をもって関わり続けていきたいと思っています。

今年度も温かい御支援、御協力ありがとうございました。

< 教育相談部より >

今年度も残りわずかとなりました。卒業や進級に向けた準備をされている中で、新しい生活に期待だけでなく「不安」や「悩み」を抱えている生徒の皆さんも多くいると思います。

思春期は自立した大人へと歩み始めようとする時期です。だからこそ自立したい気持ちと親や周囲の大人に頼りたい気持ちの間で揺れて、イライラしたり不安になったり、ストレスや悩みを感じやすい時期なのです。

●ストレスを感じる時にはどうしたらいい？

「スポーツやゲーム」「気持ちを紙に書いてみる」「ゆっくり深呼吸」「自分の好きな歌を聴いたり歌ったり」・・・自分に合った方法でストレス解消しましょう。

●悩みがあるときはどうしたらいい？

「信頼できる人に話を聞いてもらう」・・・やっぱり誰にも話せない等相談しにくい場合は親にも学校にも秘密で聴いてくれる色々な相談窓口があることを知ってください。

ストレスや悩みはひとりで抱えずに誰かに話してみるのが一番です。

新年度に向けて良いスタートをきるために、「早寝、早起き、朝ごはん」といった規則正しい生活習慣を身につけ、心を整えていってほしいと思います。

< 地域協育ネット協議会の熟語を終えて >

1月17日、麻里布小学校にて第2回地域協育ネット協議会（第4回学校運営協議会）を行いました。「麻里布地域で小中学生に付けさせたい力」について、麻里布小中学校の児童生徒、学校運営協議会委員及び教員で熟議（多くの関係者が熟慮と議論を通じて問題解決をめざす対話）を行いました。参加した生徒は、「学校目標などあまり気にすることがなかったのが難しかった」「地域の課題、地域の方の小中学生への思いを知ることができた」「委員会活動の盲点を突く意見をいただき参考になった」などの感想を述べていました。また、学校運営協議会委員からは、「堂々と意見を述べる中学生が頼もしかった」とのお褒めのお言葉をいただきました。コミュニティ・スクールである本校は、これからも学校、家庭、地域が連携して、子どもと地域の大人の協働的な学習活動を計画的、組織的に実施していきます。

< 体育館演台について >

同窓会の御支援により、演台をきれいにいただきました。

ありがとうございました。



< 3月の主な予定 >

- 7日（金）第69回卒業証書授与式
- 19日（水）個人懇談会（希望者のみ）
- 24日（月）修了式
- 28日（金）離任式（10：00～）

< 年度初め（4月）の予定 >

- 8日（火）着任式・始業式・入学式

<立志式を終えて>

2月14日(金)、学校運営協議会主催の「立志式」が、体育館を会場に行われました。立志とは、昔の元服にあたるこの時期の中学2年生が、将来について考え、希望をもち、夢を語る、文字どおり「志を立てる」ものです。

初めに、生徒全員が、将来自分の就きたい職業やなりたい大人像などについて漢字一字で表した紙を掲げながら、一人ずつその漢字に込めた決意や思いを話しました。生徒たちは、緊張しつつも一人ひとり立派に話しました。また、友だちの決意を興味深く聴いていました。

決意発表の後、本校の卒業生である、城西大学野球部監督の村上文敏様による講演を聴きました。聴いた後には「周りの人への感謝」ということを考えた生徒が多かったようです。

式の最後には、学年全体で「ほらね、」という曲を合唱しました。会場にいない人に聴かせられなかったことが残念になるほどの、素晴らしい合唱を聴かせてくれました。

当日は、想定していた以上の保護者の皆様に御来場いただき、大変嬉しくありがたいことと思えました。生徒が決意発表や合唱に力を発揮した大きな要因であったと思います。

保護者の皆様や地域の方々、今後とも温かく見守っていただき、さらなる御支援と御指導のほど、よろしくお願いいたします。



<進級にあたり>

令和6年4月8日に大きめの制服に身を包んだ初々しい117名の新入生と出会ってから、早くも1年が過ぎようとしています。

「本気! ~その積み重ね~」を学年スローガンとし、早く中学校生活に慣れて何事にも本気で取り組み、中学生として成長していきたい!という思いで日々を過ごしてきました。

緊張の入学式から始まり、初めは中学校生活のリズムに慣れることに精一杯でしたが、定期テストの経験から、一つ一つの授業と、計画的な学習の大切さを学びました。生徒総会では、何人もの1年生が真っ直ぐな拳手をし、生き生きと意見を述べ、皆で拍手をして讃えました。昼休みに体育館が開放される日には、所狭しと15分間、次々に加わってくる仲間と楽しそうに汗だくになって体を動かしています。生徒の手で作り上げる初めての体育祭や文化祭などの行事も、先輩に導かれ楽しむことができ、次の年への期待を膨らませています。この1年間、様々な経験を経て、大きく視野を広げることができたと思います。

しかし、楽しいことばかりではなく、時には葛藤を感じたり、新たな悩みを抱えたりすることもあったでしょうし、大切な仲間との辛い別れもありました。そのようなときにも、気心知れた仲間の笑顔や御家庭での温かいお声がけ、御協力のおかげで乗り越えてきました。

明るく元気、個性あふれる、愛すべき1年生は、底知れぬパワーを秘めています。4月からは2年生となり後輩を迎えます。この1年間、麻里布中学校で得たものを忘れずに、今度は3年生を支える頼もしい中堅学年として、さらに人として、パワー全開で飛躍してくれることを期待しています。

< 生徒会執行部の抱負 >

生徒会執行部がスタートしました。今年も麻里布中のレベルアップをめざし、様々な活動を行っていきます。「今年はやりきったぞ!」と全員が思える、そんな1年にしていきたいでしょう。

【生徒会長 渡邊 崇斗】

学年関係なく、全校で手を取り合って協力できる学校をつくっていきたいと考えています。そのために、学年の垣根を越えたイベントを行い、仲間との関わりを深めてほしいと思っています。麻里布中学校を更にレベルアップさせていくために、まずは私が生徒会長としての自覚をもち、率先して行動し、手本になれるような存在になります。

【生徒会副会長 大田 莉久】

私のモットーは「物事に最後まで意欲的に取り組むこと」です。任せられた仕事一つ一つに責任をもち、途中でやめず最後まで成し遂げることを約束します。

「百折不撓」という言葉を知っていますか? 「百折不撓」とは何度失敗し、挫折感を味わってもくじけずに立ち上がる、どんな困難にも臆せず、初めの意志を貫くという意味があります。「仕事をしていく上で自分が生徒会副会長としてどこをめざしていくのか」ということが私の初めての意志です。芯をぶらさず仕事に取り組み、麻中生にこれが麻里布中学校の生徒会副会長だ! と思ってもらえるように努力します。1年間よろしくお願いします。

【生徒会副会長 萬野 音奏】

全校生徒が、麻里布中学校の生徒であることに「誇り」を持ってもらえる学校をつくりたいと思っています。そのために、任せられた仕事には最後まで責任をもち、私の出せる最大限の力を発揮していきたいです。

さらに、麻里布中学校は今年で創立70年という節目を迎えます。校歌や学年信条などといった素晴らしい伝統を受け継ぎ、麻里布中学校にとって充実した1年にしていきたいと思っています。学校の力になれるようにがんばります。1年間よろしくお願いします。

【総務委員長 松森 杏芭】

挨拶の活性化と休み時間などでのルールやマナーを改善していきます。まずは自分が手本となることを心がけ、皆さんが過ごしやすい環境をつくっていけるように精一杯尽くします。

【体育委員長 嶋田 和生】

体育の授業から麻里布中学校を活気づけ、最高の体育祭にできるような委員会にしたいと考えています。そのために、まずは基本である準備体操を体育委員が中心となり、全力で取り組めるようにしていきます。

【保健委員長 岩村 紫央】

全校生徒が元気で健康な学校生活を送られるように、そのきっかけをつくれる委員会にしたいと考えています。そのために季節にあった予防対策や注意事項を放送したり、アンケートを分析したり、今必要なことを考えて活動できるよう努めます。

【給食委員長 大黒屋 旭】

残食0を徹底していきたいです。学校生活において給食は欠かせないものだと思っています。なので、委員会を中心に全員で協力して目標を達成できるように取り組んでいきたいです。

【環境委員長 松瀬 遥香】

今年は無言清掃の強化を徹底していこうと考えています。そのために、掃除に集中できる取り組みや声かけに力を入れていきます。

【図書委員長 高曲 心】

図書室の利用を推奨し、本を読むことの大切さや楽しさを感じ、本からたくさんの知識を身につけてほしいと思っています。そのために様々な活動を行って行きたいと考えています。

【放送委員長 寺崎 日弥】

放送委員会をもっと憧れられる存在にしていきたいです。そのために、もっとアナウンスの質をあげたいです。人数が少なく大変なことも多いですが、その分みんなで仲を深めて、より良い放送ができるよう頑張ります。